

平成 26 年 10 月 15 日

西東京市長 様
西東京市子ども子育て審議会会長 様

西東京市子ども子育て審議会委員
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちろりん村
吉田朋子

子ども子育て審議会への提案について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

10 月 16 日の審議会において、今後 10 年間の新規に取り組む施策や事業についての提案を 2 点させていただきます。

近年、子育て家庭の抱える孤立感や不安感、子育て支援が届いていない家庭、また届きにくい家庭の存在が大きな課題となっています。こうした家庭に対して居場所となる拠点の設置と、家庭訪問型の子育て支援「ホームスタート」を提案します。

孤立した子育て家庭に 支援を提供する場と、届ける支援を提案します

< 提案 1 >

地域的に行き場のない子育て家庭へ、出会いや遊びの紹介や相談機能を備えた「のどか」や「ピッコロ」のような拠点を空き店舗等の活用により、子育て家庭数の多い向台、芝久保、ひばりヶ丘等に適正配置をする。

また、担い手としては、NPO 等との協働により、地域に密接した多世代が関わる多機能型の拠点となるように、行政との円卓会議を開くなど実施に向けた計画づくりからの参画が必要です。

利用者支援の場所を一つとせず、転居や出産により孤立化する子育て家庭にとって、ベビーカーで行ける範囲での拠点で子育て支援情報の提供や相談をすることで孤立や不安感の軽減や虐待予防につなげます。

<提案 2>

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の実施

1. ホーム・スタートとは

ホーム・スタートとは、孤立した家庭、子育て支援が届いていない家庭に対する、訪問型子育て支援ボランティアで、傾聴を主とした活動です。イギリスで 40 年ほど前から開始され、イギリスや世界の虐待防止活動で重視されている家庭訪問（ホーム・ビジティング）の活動です。

日本でも 5 年前から日本版を開発・導入し利用家庭の 89%のニーズが改善されています。アセスメントからエバリュエーションまでの評価システムやケースマネジメントシステムがあり、地域の保健師・助産師などとの連携で安心・安全な支援を提供しています。（全国で 70 か所：10 月現在）

山形県・福島県・埼玉県・山梨県・徳島県・大分県などは県庁が設置促進に取り組んでいます。また、国の地域子ども・子育て支援事業（利用者支援や地域子育て支援事業等）や虐待予防事業、産後サポート事業として活用することも可能です。

2. 提案の理由

① 孤立している子育て家庭が増加

地域子育て支援拠点を設置しても、孤立している親たちが増加していることは、ベネッセの調査（[資料 1 参照](#)）や、子ども・子育て支援事業計画策定のための調査などで明らかになってきています。こうした家庭により積極的な支援、訪問による支援が社会から期待されています。

② これまで十分に対応できなかった家庭へ支援が可能なこと

地域子育て支援拠点事業や、ファミリーサポート・センター事業、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業などで支援が届かない層に支援を届けることができます。

③ 安心で安全な家庭訪問事業であること

先にあげた 5 県など県として推奨しているところもあります。また、市町村行政の委託事業や補助事業になっているところも多くあり、行政からの信頼も厚くなっています。また、厚労省は平成 24 年度まで「家庭支援スタッフ訪問事業」としてホームスタートなどの訪問支援活動を促進する取り組みをしていました。

④ 効果のエビデンス（科学的根拠）がある事業であること

別紙のとおり、訪問後の子育て家庭の保護者による評価を見ると、先に述べた通り 89%ニーズが改善・緩和（[資料 2-1 参照](#)）しています。また、野田らの調査（[資料 2-2 参照](#)）によると、ホームスタートの傾聴と協働による支援は利用者に大きな満足を与えていることも明らかになっています。

3 計画内の位置づけ

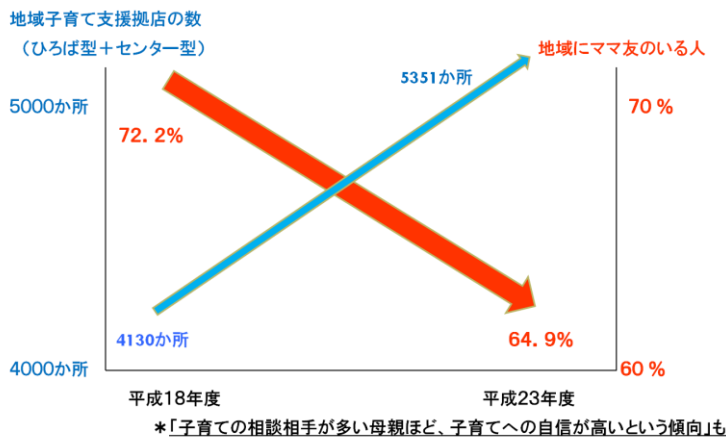
平成 26 年度国の予算や、子ども・子育て支援法の中の位置づけですが、下記の 4 つの形態があります。いずれもホームスタート事業の実施に利用可能です。(資料 3 参照)

- ① 利用者支援事業（基本型）
- ② 地域子育て支援拠点事業
 - ・市町村独自の子育て支援事業（未就学児を持つ家庭への訪問活動等）
 - ・地域支援事業
- ③ 児童虐待・DV 対策等総合支援事業
- ④ 産前・産後サポート事業

以上

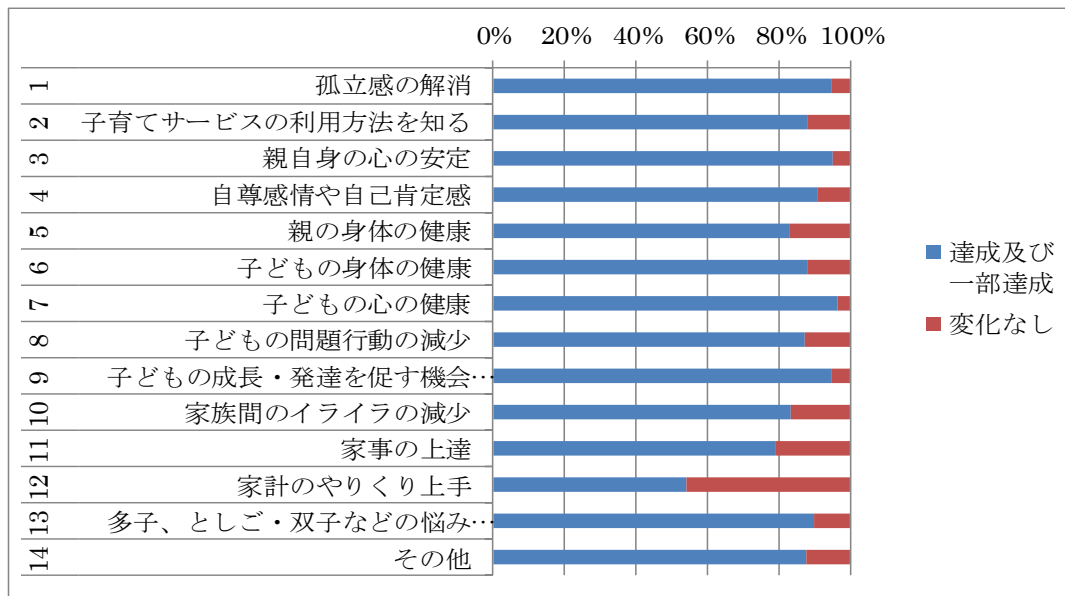
■資料1 5年前よりママ友がいない家庭が約1割増加

「子ども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人」
 がいる家庭が 約1割 減少 (0~2歳児の親)



出典：ベネッセ次世代育成研究所「第2回妊娠出産子育て基本調査(2011)」

■資料2-1 ホームスタートで子育てニーズの約9割が改善



子育てニーズの改善・緩和の割合 (2009-2013.9 現在) **平均 89%**

出典：ホーム・スタート・ジャパン HP URL <http://www.homestartjapan.org/>

■資料2-2 ホームスタートの傾聴支援は利用者満足度が高い

ホームスタートの支援の特徴である、丁寧な「傾聴」と、利用者との「協働」した家事・育児は、利用者に大きな満足を与えている。

ホームスタートは、無償支援であることから「受容的・共感的コミュニケーション」と「協働活動」の双方により利用者満足度が高められる

ホームスタートは、無償支援であることから訪問回数や時間をかけなくても、満足度が高い。

出典：野田敦史・野澤義隆「訪問型子育て支援における支援効果の測定尺度開発に関する調査研究」（2012）

■資料3 活用できる国の制度

○ 利用者支援事業（基本型） 補助率 1/3

地域支援のための費用も含む

○ 地域子育て支援拠点事業 補助率 1/3

4 実施方法 ② 一般型

エ 地域の子育て拠点としての地域の子育て支援活動の展開を図るための取り組み

(エ) その他、拠点施設を拠点とした市町村独自の子育て支援事業（未就学児を持つ家庭への訪問活動等）の実施

カ 地域支援

(エ) 本事業を利用したくても利用できない家庭に対して訪問支援等を行うことで地域とのつながりを継続的に持たせる事業

○ 児童虐待・DV 対策等総合支援事業

(旧) 児童虐待防止対策緊急強化事業 補助率 1/3

○ 妊娠・出産包括支援モデル事業（母子保健医療対策等総合支援事業の一つ）

4 妊娠・出産包括支援モデル事業

(3) 事業の種類

② 産前・産後サポート事業

助産師等による相談支援や、シニア世代による妊産婦等の話し相手等の支援により、家庭や地域での孤立感の解消を図る